

伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器の中国市場における海外販路の開拓

住所	〒933-0909 富山県高岡市開発本町1番1号		
電話番号	0766-22-2097	URL	http://www.shikki.ec-net.jp
設立	昭和50年2月	出資金	2,302千円
主な業種	漆器製造卸売業	組合員	38人

■背景と目的

高岡漆器は、多彩で高い加飾技術を持ち、伝統的工芸品として高い評価を得て発展してきたが、生活様式の変化や安価な製品の台頭などで漆器の需要が減り、販売額も低迷してきた。そのため、新規販路拡大として、市場規模の大きな海外需要開拓を目指し、市場調査、ネットワーク構築を推し進め、組合員の海外展開支援に取り組んだ。

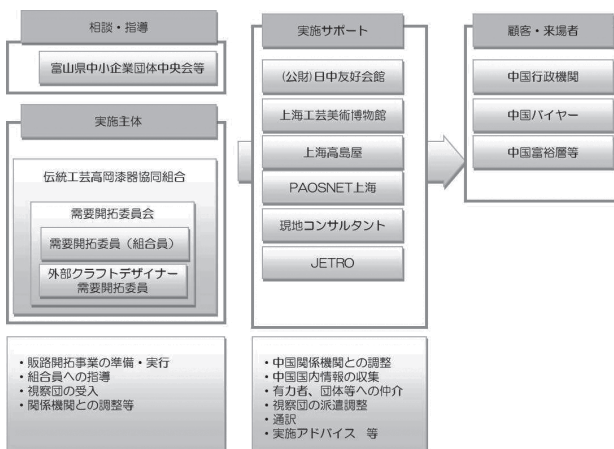
■事業・活動の内容と手法

(公財)日中友好会館による日本の伝統的工芸品を中国で紹介する「第一回日本工芸展」の出展依頼を受け、商談会、アンケート調査を取り入れた展示会を展開し、現地での取引や高岡漆器の魅力の発信と情報収集を行い、非常に高い成果を得ることができた。また、上海高島屋日本館から展示のオファーもあり、展示期間中に同時PRすることもできたため、高岡漆器の認知度、中国国内での販売促進につながる新しいチャンスとなった。

高岡漆器を総合的に国外で展示紹介した初めての展示会において、(一財)伝統的工芸品産業振興協会、(公財)日中友好会館担当者と協力して、文化が異なる中国での展示商品の検討や展示方法及び工夫等について情報の共有を行い、さらに商談の仕方等については、(独)日本貿易振興機構の協力・指導を受けた。そして、中国における経営戦略や日本企業の中国進出の支援を数多く手掛けるPAOSNET上海代表の王超鷹氏を展示会総合プロデューサー＝海外インフルエンサーとして招聘。文化を通じた日中間の相互理解促進を目指す(公財)日中友好会館、上海工芸美術博物館の協力もあり、3,022名もの入場者に日本の伝統的工芸＝高岡漆器としての素晴らしさを大きくPRすることができた。

■成果

高岡の歴史や文化、高岡漆器のものづくりについて広くPRできたことや、中国市場での取引に重要なノウハウの取得ができたこと、中国での人脈の拡大は今後の販路開拓・拡大に向けて大きな成果となった。今後も今回の成果を活用し、次に繋げて新たな需要を取り込むことにより、高岡漆器産業の活性化が期待される。

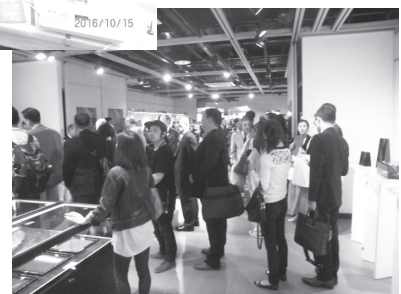


▲展示会事業における実施イメージ図

多くの方が展示会に来場されました。▶



◀展示会における実演



展示会に出展するにあたり、事前に中国の関係者等と交流を深めたこと、商品説明・技術の実演や地域(高岡)の文化をPRしたこと。